



様々な情報を把握し、 的確な意思決定を行う災害対策本部

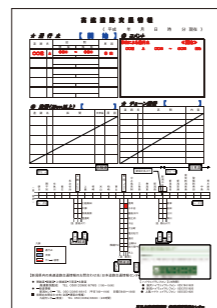
市は、本庁に災害対策本部会議室を常設しています。原子力災害時には、安全協定に基づいた原子力事業者からの発電所情報やリアルタイムの道路映像など正確な情報を入手し、意思決定を行います。

市民のみなさんへの 迅速な情報提供

緊急告知FMラジオ・エリアメール等あらゆる手段を活用し、市民のみなさんへ迅速に情報提供します。



長岡国道事務所から市へ提供される道路映像



長岡国道事務所、長岡地域振興局、東日本高速道路株式会社から市へ送付される道路情報

◎いざという時のための 情報入手の手段を 確認しておきましょう。



ラジオ(緊急告知FMラジオ)

・FMながおか(80.7MHz)



携帯電話など

・エリアメール、緊急速報メール
・住民あんぜん長岡



テレビ・ケーブルテレビ

・株式会社エヌ・シティ
(TEL.0120-080-009)



長岡市ホームページ

・ながおか防災
ホームページ

<http://www.bousai.city.nagaoka.niigata.jp/>
Twitterから最新の防災情報を確認

その他

子どもたちへの対応

お子さんが保育園や幼稚園、学校などにいるときに、原子力災害が起きたときは、市は、お子さんの安全を確保し、速やかに保護者に引き渡します。

安定ヨウ素剤の配備

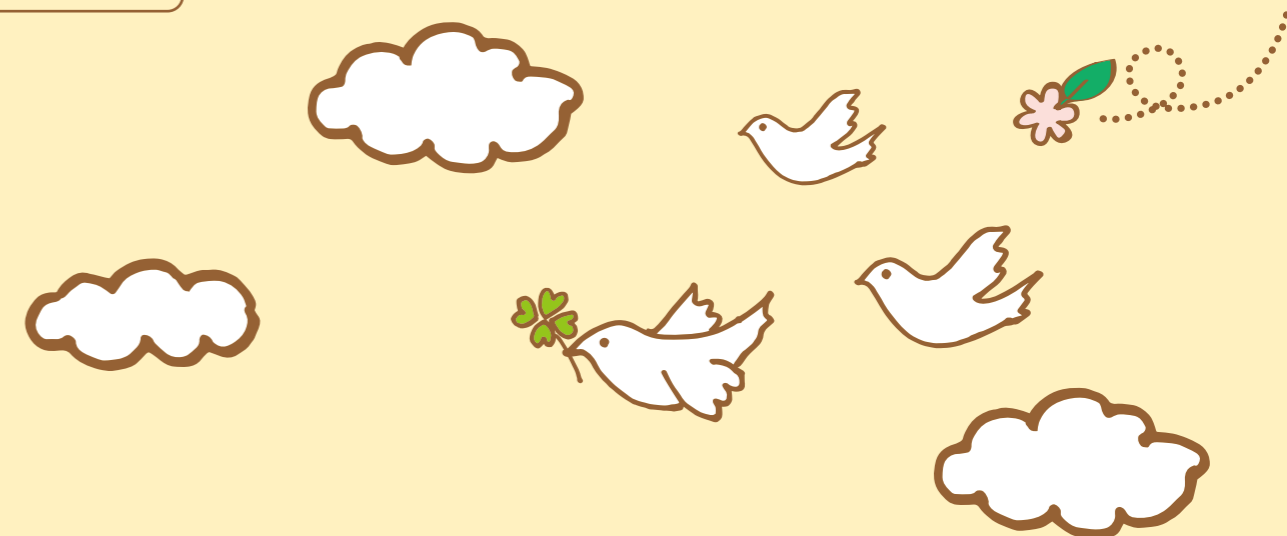
安定ヨウ素剤は、すでに県が購入しており、検討会で関係者と適切な配備について検討を進めています。今後も、市は県と協議を進めていきます。

社会福祉施設の 避難について

県は、PAZ(原発からおおむね5km圏内)における社会福祉施設(入所)のマッチングを完了し、UPZ(原発からおおむね5~30km圏内)の対応について検討をしています。市も県に対して必要な協力をしていきます。

※「長岡市原子力災害に備えた避難計画」は、アオーレ長岡、各支所、各コミュニティセンター等に配備しています。市ホームページでも確認できます。

保存版



みんなの安全と安心を 守るために

原子力災害時の屋内退避・避難の行動



はじめに

市では、長岡市地域防災計画（原子力災害対策編）に基づいて「長岡市原子力災害に備えた避難計画」を策定しました。これは、柏崎刈羽原子力発電所において、原子力災害が発生もしくは発生するおそれがある場合に備え、防護措置に係わる情報連絡体制、避難先、避難手段の調整など、基本的な枠組みについて定めたものです。

この冊子は、避難計画の中で、みなさんから覚えておいてほしい行動などを整理したものです。

内容をご理解いただき、万が一の場合は、正確な情報に基づきあわてずに冷静な対応をお願いします。

距離によって基本の行動が違います

柏崎刈羽原発からの概ねの距離	該当地域	基本の行動
～5km	柏崎市の一部と刈羽村	即時避難
5～30km	長岡、中之島、越路、三島、山古志、小国、和島、寺泊、与板、川口	まずは屋内退避 ・その後、放射線量の測定値が、高い区域のみ避難 ・必要に応じて安定ヨウ素剤を服用
30～50km	栃尾	避難者の受け入れを検討 ・必要な場合は、屋内退避や避難、安定ヨウ素剤を服用

1 まずは、屋内退避

放射性物質の放出に備え 屋内退避を！

屋内退避とは、被ばくの低減を図る防護措置です。

（あわてて自家用車などで避難すると交通渋滞などにより、かえってリスクが高まります。）



テレビやラジオ、携帯電話などから新しい情報を入手する。

・市からのお知らせがあるまで屋内退避を継続します。
 ※災害の状況によっては一週間程度になる場合があります。



長岡市放射線観測システム

長岡市の放射線量はここで確認

・地域別の詳細マップでは、ズーム操作で、モニタリングポストなど観測地点の放射線量が把握できます。
 ・スマートフォンにも対応しています。

URL <http://www.radiation.city.nagaoka.niigata.jp>

測定

屋内退避の継続

基準値(OIL※)を超えた区域のみ避難を実施

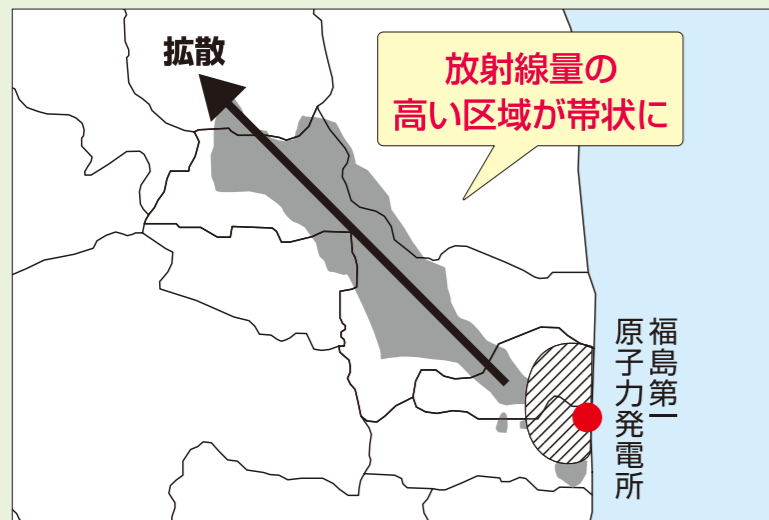


放射線量の測定は、国等が行います。
 なお、北から南まで広い市域を持つ当市は、全市域が一斉避難とならず、
特定の区域のみ避難となる可能性が高いと考えています(下図参照)。

※OIL …国の原子力災害対策指針に記載されている「運用上の介入レベル」。避難等の防護措置の実施を判断する基準

▲放射線量を測定するモニタリングポスト (市内に8台設置) ※平成28年3月1日現在

【参考:福島第一原発事故時の放射性物質の拡散】



『文部科学省及び米国エネルギー省航空機による航空機モニタリングの測定結果について平成23年5月6日発表資料「文部科学省及び米国DOEによる航空機モニタリングの結果(福島第一原子力発電所から80km圏内の線量測定マップ)」』を基に長岡市が作成。資料に示された地表面から1mの高さの空間線量率[4月29日現在の値に換算]のうち、毎時19マイクロシーベルト～毎時91マイクロシーベルト(グレー部分)と、測定結果が得られていない原子力発電所周辺の範囲(斜線部分)を抽出し記載。

避難は、正確な情報に基づきあわせて行います。

(たとえば、国の指針では、毎時一週間以内に避難するとされ 20マイクロシーベルトを超えた場合、) ています。

- 市の指示に従って避難してください。
- 原則として、**自家用車で避難**してください。
- 交通渋滞を避けるため、**できる限り乗り合い**を心がけてください。

自家用車で避難



バスで避難



徒歩などで集合場所へ



- 自家用車で避難できない人は、**市が用意したバスなどで避難**してください。

隣近所への声かけや、高齢者、障害のある人への手助けなど、地域内で、できる範囲の助け合いをお願いします。

※バスによる避難の集合場所は地区防災センターなどを指定(P7参照)

主な国道、県道、高速道路 など

避難

避難者は**避難経路所**へ向かいます。そこから各避難所へ段階的に順次、移動します。

避難経路所



各避難所へ移動

避難所

避難所

避難所

避難退域時検査

避難の途中で必要に応じ、放射性物質による汚染状況を確認します。
 なお、具体的な設置場所や検査方法等は県が検討しています。

3 基本の避難先はこちら

市町村による原子力安全対策に関する研究会で、原子力発電所から30km圏内の住民が避難する際に、受け入れる県内市町村の組み合わせが了承されました。

その結果を踏まえ、市は、避難先市町村と協議し、市内40のコミュニティごとに基本の避難先市町村、避難経由所等を定めました。

なお、災害の状況によっては、避難先を柔軟に選定し対応します。



▲第11回 市町村による原子力安全対策に関する研究会 (平成27年7月28日)



地区コミュニティ支所地域名	バスによる避難の集合場所	避難先市町村	避難経由所
千手 阪之上 表町 中島	南中学校 阪之上小学校 表町小学校 中島小学校	五泉市	五泉市総合会館 五泉市旭町7-11 0250-42-5194 五泉市宮野球場 五泉市丸田580-1 0250-42-5194 さくらアリーナ(村松体育館) 五泉市石首根8074-1 0250-58-6373
神田 川崎	神田小学校 川崎小学校/川崎東小学校	阿賀野市	阿賀野市立図書館 阿賀野市首郷1028 0250-67-2500
栖吉	栖吉小学校	阿賀町	道の駅「阿賀の里」 阿賀町石間4301 0254-99-2121
宮内	宮内中学校/上組小学校 石坂小学校/前川小学校	三条市	三条・燕総合グラウンド 三条市上須頃地内 0256-34-5586
四郎丸	四郎丸小学校	加茂市/田上町	加茂文化会館 加茂市幸町2-3-5 0256-53-0842 田上町役場 田上町大字原ヶ崎新田3070 0256-57-6222
新富 山曾 山本 新組 黒条 中之島	北中学校 富曾亀小学校 浦瀬小学校 新組小学校 黒条小学校 中之島文化センター 上通小学校/信条小学校 サンバルコなかのしま	新潟市 (北区/東区 江南区/秋葉区)	デンカビッグスワンスタジアム 新潟市中央区清五郎67-12 025-287-8811 ハードオフエコスタジアム新潟 新潟市中央区長湯570 025-287-8900 白根カルチャーセンター 新潟市南区上下諏訪木1755-1 025-373-6311
大島 下川 上川 福西 王西 関川 三原 和島 寺泊	大島小学校 下川西小学校 上川西小学校 福西小学校 王寺川コミュニティセンター 関原小学校 日吉小学校/三島支所 脇野町小学校/みしま体育館 和島保健センター 寺泊中学校 寺泊文化センター 寺泊センターおおこうづ 与板体育館	新潟市 (中央区/西区 南区/西蒲区)	新潟市みどりと森の運動公園 新潟市西区板井1018-1 025-379-3766 新潟県総合研修センター 新潟市西区曾和100-1 025-261-1331 こめぐりの郷公園 新潟市西蒲区間瀬4290 0256-72-8454 (西蒲区産業観光課)
希望が 丘越 日本 宮本 大積 深才 青葉	希望が丘小学校 日越小学校 宮本小学校 大積小学校 深沢小学校 青葉台小学校	燕市/弥彦村	燕市分水公民館 燕市分水新町2-5-1 0256-97-2703 道の駅「国上」 燕市国上5866-1 0256-98-0770 弥彦体育館 弥彦村上泉1753-1 0256-94-2876
豊田 十日 六日 太田 山通	豊田小学校 十日町小学校 山谷沢小学校 太田小・中学校 柿小学校	長岡市(栃尾地域)	道の駅「R290とちお」 長岡市栃尾宮沢1764 0258-77-0100
越路 山古 小志 国志 川国 川口	越路体育館/越路西小学校 山古志体育館 小国会館/上小国小学校 下小国小学校 川口公民館/川口中学校	魚沼市	魚沼市小出郷文化会館 魚沼市干溝1848-1 025-792-8811 魚沼市役所堀之内庁舎 魚沼市堀之内130 025-794-2111

安定ヨウ素剤に関する計画等について（抜粋）

1 国（原子力規制委員会）原子力災害対策指針

- UPZ（※1）については、全面緊急事態に至った場合、プラント状況や空間放射線量率等に応じて、避難等の防護措置を講じることとなる。そのため、以下の点に留意して、避難等と併せて安定ヨウ素剤の服用を行うことができる体制を整備する必要がある。
- ・ 地方公共団体は、緊急時に備え安定ヨウ素剤を購入し、避難の際に学校や公民館等で配布する等の配布手続きを定め、適切な場所に備蓄する。

※1 UPZ（避難準備区域）・・・発電所を中心とする半径おおむね5～30km圏

2 新潟県地域防災計画（原子力災害対策編）

- 県は、安定ヨウ素剤について、住民避難が広域に分散し、多数の避難所が開設されるような事態も想定して、緊急時に迅速かつ適切に配布されるよう、県内各地の地域拠点への広域配備や分散備蓄の体制を整備する。なお、緊急時に迅速かつ確実に服用できるよう、PAZ（※2）においては、原災指針に基づき、住民に対して配布する。
- 県は、市町村、医療機関等と連携して、重点区域の住民等に対する安定ヨウ素剤の事前配布体制及び緊急時における安定ヨウ素剤の配布体制を整備する。

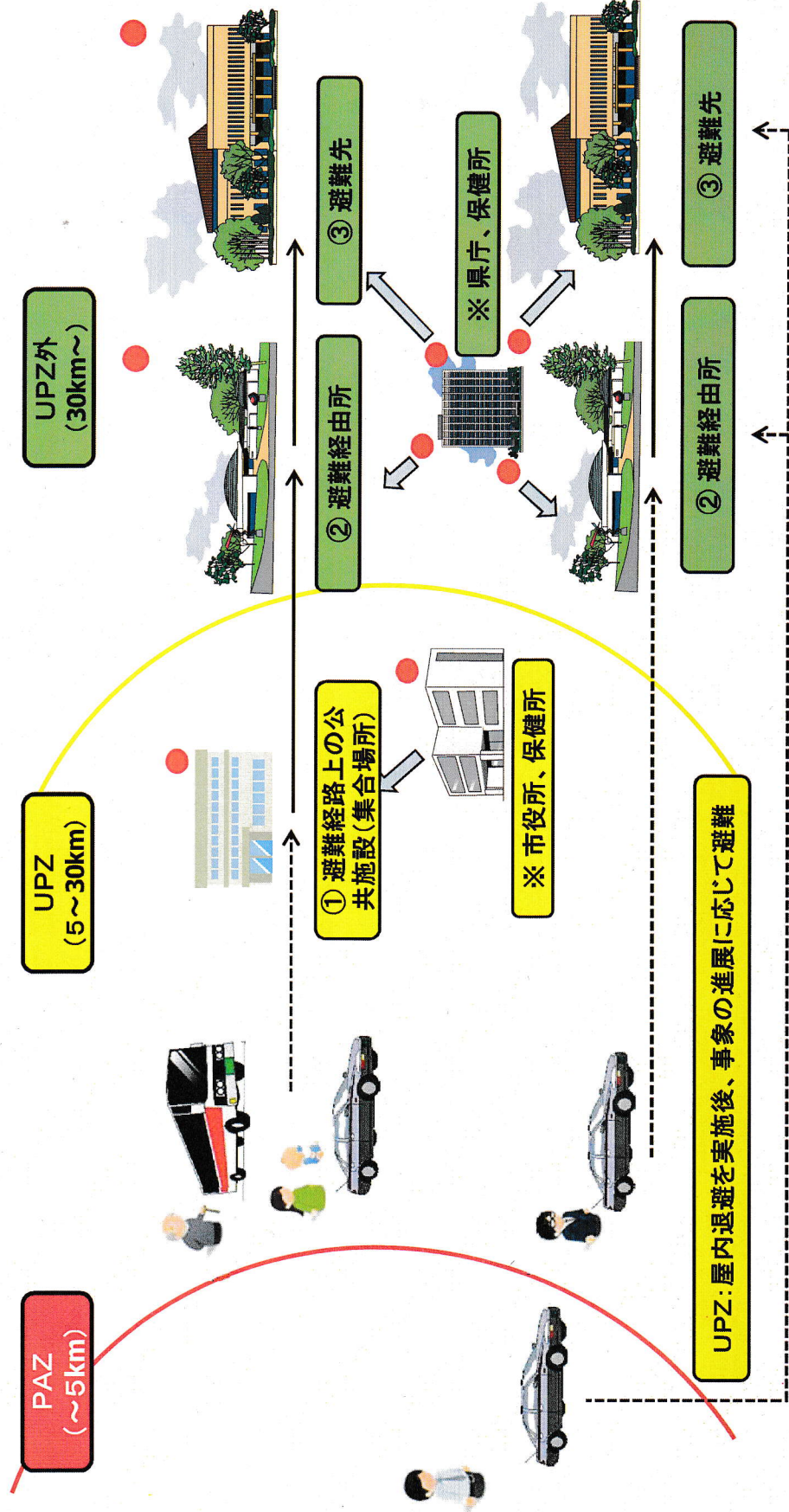
※2 PAZ（即時避難区域）・・・発電所を中心とする半径おおむね5km圏

3 原子力災害に備えた新潟県広域避難の行動指針

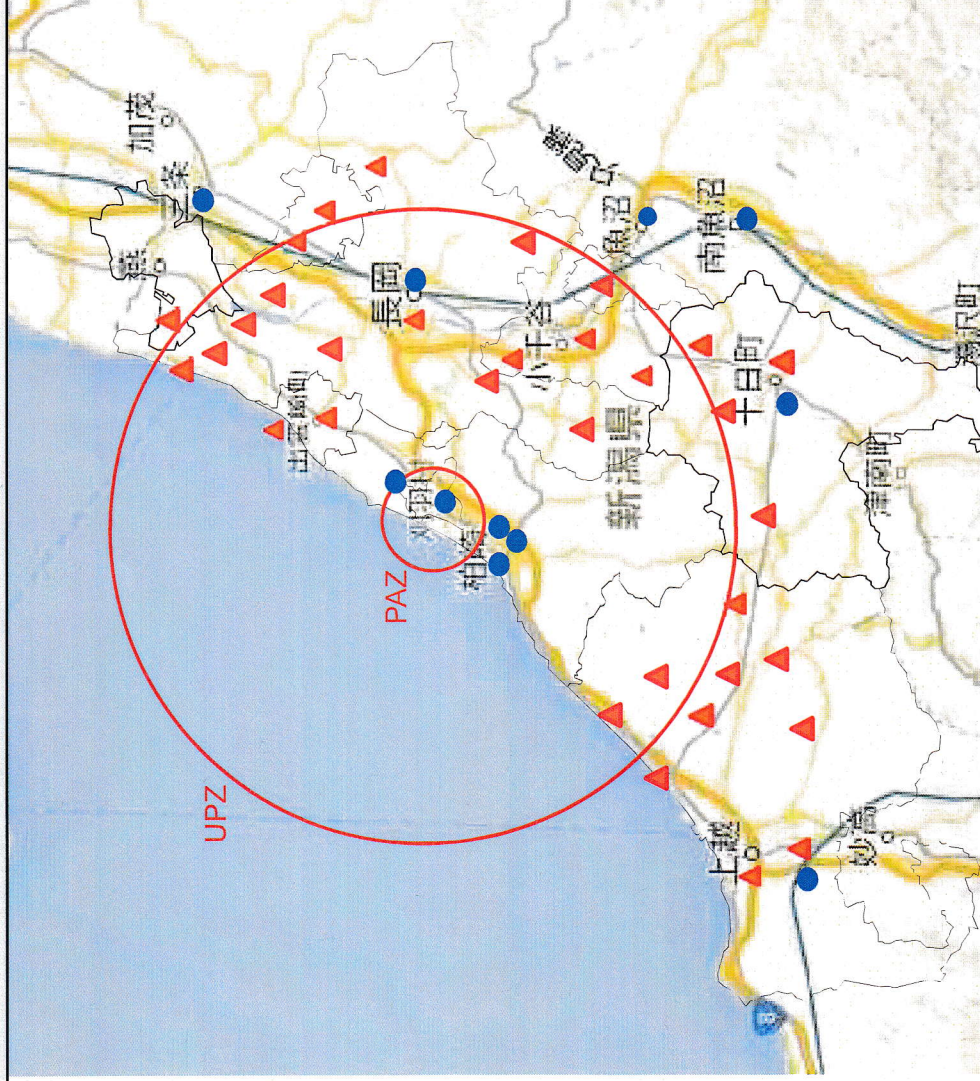
- 本県では、平成27年9月からPAZ内の住民に対し、定期的に事前配布を実施するとともに、緊急時の実効性ある配布・服用に向けて、関係市町村と協議中。
- 安定ヨウ素剤（丸剤）は、UPZ外を含む県内全域の必要数を調達し、県庁及び県内8保健所に配備済み。
- UPZ内については、実効性ある配布・服用に向けて、緊急時の配布方法や配備場所等について関係市町村と協議していく。

避難住民に対する安定ヨウ素剤の緊急配布（イメージ）

緊急時にUPZ内の住民が円滑に安定ヨウ素剤を服用できるよう、市町村の避難計画も踏まえ、避難経路上の公共施設、避難経由所等における緊急配布を想定し、配布体制を検討する。



UPZ内における市町村の分散配備場所(例)



<想定される分散配備場所>

長岡市：市役所、支所 等

小千谷市：市役所、支所 等

見附市：市役所、支所 等

十日町市：市役所、支所 等

上越市：市役所、各総合事務所等

燕市：市役所 公民館 等

出雲崎市：役場、公民館 等

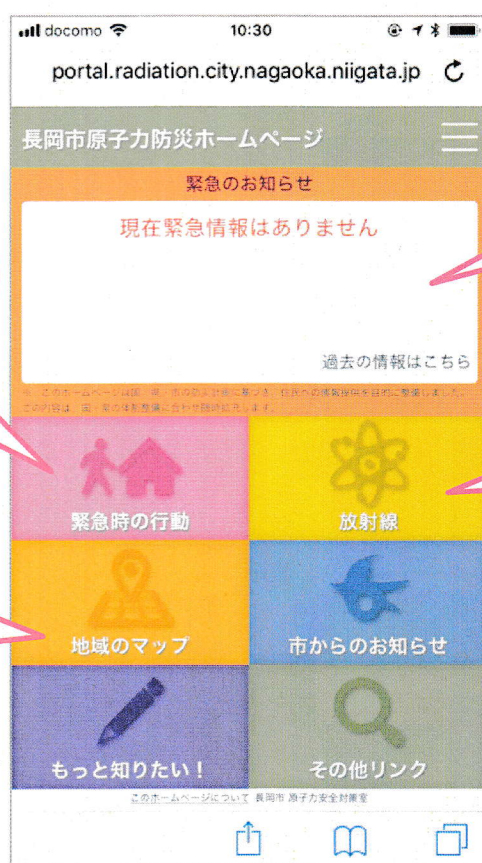
市町村の避難計画や平時の管理体制等も踏まえ、当面の分散配備場所として、
 まずは、市町村役場、支所（旧役場）、主要な一時集合場所（公共施設）等を想定

長岡市原子力防災ホームページ をご利用ください

原子力安全対策室では、原子力防災の情報を発信する「長岡市原子力防災ホームページ」を開設しました。

万が一の災害に備え、ぜひ情報収集にお役立てください。

問 原子力安全対策室 ☎ 39・2305



屋内退避や避難
行動を具体的に
解説

災害時には
緊急情報を
掲載

避難するコミュ
ニティ単位で
地図を作成

放射線の基礎
知識や測定値
を掲載

▲スマホ版トップ画面

<アドレス>

<http://portal.radiation.city.nagaoka.niigata.jp/>

<QRコード>



原子力安全対策の 出前講座を実施しています！

原子力安全対策室では、**町内会や自主防災会を対象にDVDと資料を活用した出前講座を実施しています。**

原子力災害時に、正確な情報に基づき冷静な対応をとるためには何が必要か専門の講師が分かりやすく説明いたします。ぜひ、お気軽にお申込みください！

問 原子力安全対策室 ☎ 39・2305

屋内退避が重要と聞いたので
詳しく講師に聞いてみよう！

